

1.3.1.1-16

「聞く」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

<1> 「聞く」尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現(P2)

<2> 「聞く」の尊敬語表現 (P3)

<3> 「聞く」の謙讓語表現(P4)

「聞く」の謙讓語を使う場面(P5)

<4> 「聞く」の丁寧語表現と参考出典情報 (P6)

資料作成: 日本語ナレッジ推進委員会第2組より作成します。

・作成メンバー: 崔湘寧、唐名澤、李重陽、宋雪明、楊顏華

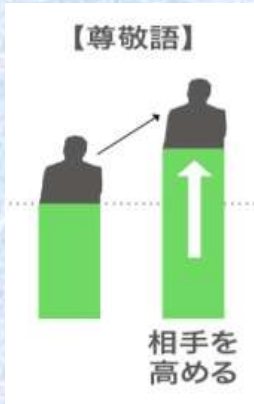
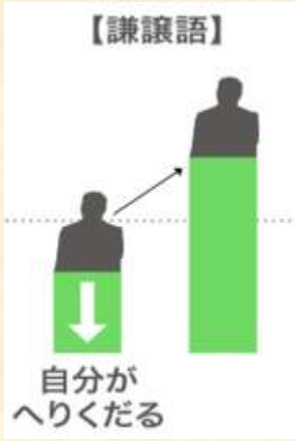
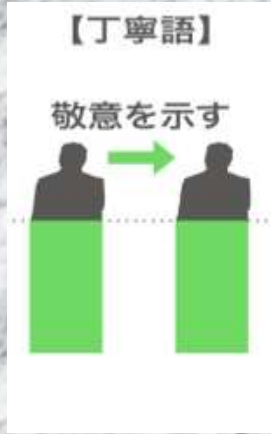
・一次レビュー者: 崔湘寧(組長)

最終レビュー・補記訂正者: 吉川さん

1.3.1.1-16_「聞く」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い



「聞く」の尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現

基本形	尊敬語	謙讓語	丁寧語
聞く	聞かれる、 お聞きになる、 お耳に入る	お聞きする、 伺う、拝聴する	聞きます
敬意を表す方向			
使用方法	相手の動作や状態に使う。 相手や相手の動作、状態などを直接的に高める。	自分の動作・状態に使うもの。 自分がへりくだり、それにより間接的に相手を高める言い方です。	聞き手に対して丁寧に述べる言葉。 「です」「ます」をつけて使う。 相手・内容を問わない。



1.3.1.1-16_「聞く」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「聞く」の尊敬語表現：「お聞きになる」「聞かれる」

「聞く」の尊敬語は「お聞きになる」「聞かれる」です。目上の人や上司、取引先の相手などに適切なのが「尊敬語」です。「聞かれる」より「お聞きになる」のほうがより敬意を表した表現になります。相手の立場や状況に適した使い分けをしてください。

◇「聞かれる」

「聞かれる」が尊敬語の表現になります。その一方で受け身としての用法もあります。

自分が主語の時の「聞かれる」は受身の表現、相手が主語の時の「聞かれる」は尊敬語です。

◇「お聞きになる」

「お聞きになる」は、「聞く」に相手の動作への敬意を示す「お～になる」という表現を付け加えることによってつくられた尊敬語です。「お」が冠されているということで、相手により丁寧な印象を与えることができます。

◇「お耳に入る」

「お耳に入る」も「聞く」の尊敬語として多用されます。この場合の「聞く」は、注意深く耳を傾けることに対する尊敬語です。

「お耳に入る」は噂話や連絡などの情報が相手に伝わることを表すときにだけ使われるという特徴があります。

参考リンク: <https://career-picks.com/business-yo-kenjogo/>

「聞く」尊敬語の使用例

- 先輩、例の新規プロジェクトについて、**聞かれました**？
- クラシック音楽を**お聞きになる**ことはありますか？
- すでに**お耳に入っているか**と思いますが。

なお、「耳に入る」は「偶然、聞こえてきたこと」に用いられるので注意。

例：
隣席の会話が耳に入る

日常では、「頭出し」のときに使うことが多いです。

例：
「今月の全体会議の件で、事前にお耳に入れておきたいことがあるのですが…」



1.3.1.1-16_「聞く」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「聞く」謙讓語表現：「お聞きする」、「伺う」、「拝聴する」、

◇「お聞きする」 ※話し言葉でよく使う

「聞く」という自分の動作に「お」を付けるのでは、自分の行為を高めているようで違和感があると感じる人もいます。ただ、「お聞きする」の場合は、話を聞かせてくれる相手への敬意を示すべく「お」が付けられているので、謙讓語として何の問題ありません。

メールでも使います。
また、「お聞きする」より、「伺う」を使うほうが多いです。

例：
「昨日、〇〇システムの新情報に関するお話を、伺いました。」

◇「伺う」 ※話し言葉でよく使う

「聞く」という意味で「伺う」という言葉を使いたいときには、「伺う」の前に「お話を」などの自分が相手から聞きたい内容を補ってください。

◇「拝聴する」 ※メールなどの文章でよく使う

「お話を聞く」の謙讓語で「拝聴する」という言い回しがありますが、これはかなり丁寧な言葉で、敬意の高い謙讓語です。普通のビジネスシーンではあまり使うことはないです。

参考リンク：<https://career-picks.com/business-yougo/kiku-kenjogo>

「伺う」は、「聞く」の謙讓語だけでなく、「訪問する」の謙讓語でもあるので、注意。
※
「伺います」が正しい敬語
「お伺いします」は二重敬語だが、一般的に使われている

例：
「明日、御社へ直接お伺いします。」

「聞く」の謙讓語使用例

- ・先日提供を開始したサービスについて〇〇様のご意見をお聞きしたいのですが、 少しでもお時間をいただけますか。
- ・その件については、〇〇を通じて話を伺っております。
- ・皆様のご意見を拝聴したく存じます。



1.3.1.1-16_「聞く」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い



「聞く」の謙讓語を使う場面

◇場面1. 話を聞く許可を得たいとき

ビジネスシーンにおいて、上司などの目上の人や取引先の人から話を聞く許可を得たいときなどに「**お聞きする**」という言葉が多用されます。

◇場面2. 既にその話を聞いていることを伝えるとき

取引先の会社など、先方からの連絡を既に聞いていたとき、相手が何度も同じ話をする手間を省かせるために既に話を聞いていることを伝えることがあります。そのような場面では「**伺う**」という言葉が活躍してくれます。

◇場面3. 講演会の感想をメールで伝えるとき

取引先の会社の人や目上の人への講演会についての感想をメールで伝えたいという場合には、「**拝聴**」という表現を用いると良いです。

参考リンク：<https://career-picks.com/business-yougo/kiku-kenjogo/>

「聞く」の謙讓語使用例

- ・先日提供を開始したサービスについて〇〇様のご意見を**お聞きしたい**のですが、少しだけお時間をいただけますか。
- ・その件については、〇〇を通じて話を**伺っております**。
- ・先日〇〇様の講演会を**拝聴いたしました**。大変興味深い内容で、勉強になりました。



1.3.1.1-16_「聞く」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い



「聞く」の丁寧語表現：「聞きます」、「聞いています」

◇「聞きます」

「聞く」の丁寧語は「聞きます」です。丁寧語は第三者とコミュニケーションをとるときや、一般的に丁寧な会話を心がけたい時に使われます。身内や友達、親しい間柄でも、状況に応じてやや襟を正したい場面においては「聞きます」と、丁寧語を使うこともあります。

謙讓語の項で挙げた「お聞きする」は、謙讓語であるとともに丁寧語でもあります。お聞き「する」ではなく、「お聞きします」「お聞きいたします」だと丁寧さが増します。

参考リンク：<https://and-plus.net/kiku/>

「聞きます」の使用例

- 最近第一線で活躍していると聞いています。
- その話はよく聞きますが、本当ですか？



参考出典情報

<1> 「聞く」の謙讓語にはどんなものがあるの？英語表現まで徹底解説

<https://career-picks.com/business-yougo/kiku-kenjogo/>

<2> 「聞く」の正しい敬語の使い方【尊敬語・謙讓語・丁寧語】

<https://and-plus.net/kiku/>

